

かながわの交通

2019
11

交通安全年間スローガン受賞作品（全日本交通安全協会会長賞）
～一般部門（A）～ 運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの

夕暮れの 早めのライトで 防ぐ事故



ラグビーワールドカップ 横浜国際総合競技場 （横浜市港北区）



道路横断には気をつけて！

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵！ 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう！

歩行者
事故
多発！

◎県内の交通事故発生概況（令和元年10月末）

◎県人口・運転免許人口

年別区分	発生件数	死者数	傷者数
令和元年	19,099	112	22,477
平成30年	21,659	127	25,715
増減数	-2,560	-15	-3,238
増減率	-11.8%	-11.8%	-12.6%

	総 数	男	女
県 人 口	9,200,166	4,585,415	4,614,751
免 許 人 口	5,649,351	3,222,890	2,426,461
割 合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は令和元年10月1日、免許人口は令和元年9月末現在)



ホームページ

飲酒運転根絶強化月間

実施期間

令和元年12月1日(日)～12月31日(火)の1か月間

目的

悲惨な交通事故を引き起こす飲酒運転を根絶するため、飲酒運転の危険性、悪質性を訴える運動を県民総ぐるみで展開します。

スローガン

乗る人に 飲ませるあなたも 犯罪者

重 点

- ・飲酒運転根絶運動の周知徹底と広報啓発
- ・飲酒運転を助長する環境の根絶
- ・ハンドルキーパー運動の推奨



飲酒運転で人身事故を
起こすと、

危険運転致死傷罪

最高懲役 20年の懲役に問われることも！！

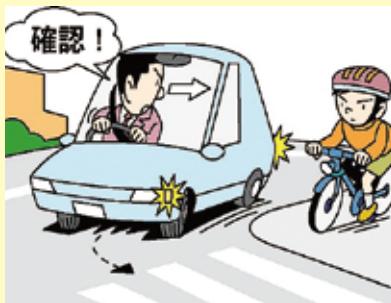
飲酒運転も飲酒運転周辺者も厳罰！

「ストップ・ザ・交通死亡事故」

平成28年度から5か年計画で始まった「第10次神奈川県交通安全計画」では、交通事故による「年間の24時間死者数を150人以下」とする目標を掲げ、各季の交通安全運動をはじめ、各地区の交通情勢に応じた対策を推進しています。

今年は10月末現在の交通事故死者数が112人(前年比-15人)と、昨年と比べて減少しており、目標達成可能な情勢となっていますが、これから年末にかけて例年交通事故が多発する傾向にあります。

県警察では、多発している二輪車関係事故や高齢者事故の防止を中心として、年末の交通事故防止運動等に取り組む方針ですので、地元警察署や関係団体が連携し、地域の交通実態を踏まえた効果的な交通事故防止の取組みに努めましょう。



受賞おめでとうございます

警察本部長・地域交通安全活動推進委員協議会連絡協議会会長連名表彰

交通の安全と円滑を図るために活動している中で、顕著な功労のあった原則として在任期間10年以上の個人と、多年にわたる地道な推進委員協議会活動により顕著な功労があった団体を対象として毎年表彰しています。

● 交通安全功労者(50人)(敬称略)

松澤秀夫(加賀町)、中宮のり子、高岡俊哉(磯子)、奥富妙子(金沢) 粟竹俊幸(伊勢佐木)、阿部誠一郎(戸部)、福増一浩(神奈川)、手島勝男、深瀬喜永(鶴見)、小川名雅子(旭)、合志光紀(緑)、斎藤正夫(青葉)、大久保英喜、嶺岸剛(都筑)、柴原和可、相良輝(戸塚)、小巻三枝子、峯村和彦(栄)、鈴木憲二、山野宏之(泉)、相原友宏(瀬谷)、平田順子(川崎)、博田豪(臨港)、金井弘年(幸)、平田眞(中原)、萩原勝範(高津)、猿橋脩恵、鮫島隆(宮前)、佐藤学、原田弘、吉場八重子(多摩)、中村昌弘、小池克彦(横須賀)、加藤陽一(浦賀)、高梨和吉(三崎)、平野佳一(逗子)、衛藤和夫(鎌倉)、小泉権七、土田升男(大船)、矢澤喜朗(藤沢)、新井一央(茅ヶ崎)、鳥海敏克、保田明夫、鈴木明(平塚)、古郡保正(大和)、後藤博(相模原)、吉田實(相模原北)、今正巳、高崎久幸、平井信幸(津久井)

● 交通安全功労団体(3地区協議会)

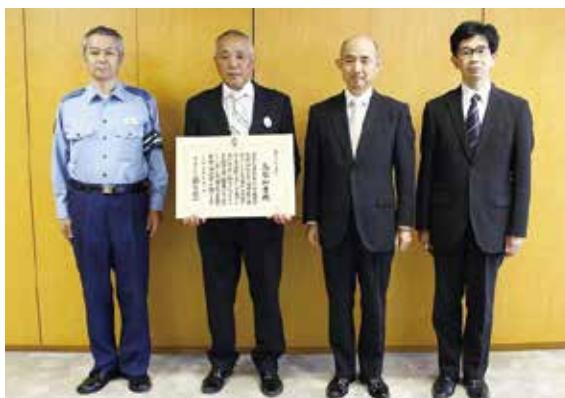
- | | |
|--------------------------|---------|
| ・鶴見警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 | 代表:堀晃一 |
| ・津久井警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 | 代表:平栗文夫 |
| ・三崎警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 | 代表:高梨和吉 |

《警察協力章～受章おめでとうございます》

三浦市交通安全協会会长 高梨 和吉 氏

地域の交通安全活動に多大な貢献があったとして、三浦市交通安全協会会长の高梨和吉さんが、このほど警察協力章を受章しました。同章は警察庁長官から贈られ、警察表彰としては民間人への最高位の表彰となります。

高梨会長は、平成6年三浦市交通安全協会評議員に就任、同協会の要職を歴任し、平成17年から会長、平成25年から公益財団法人神奈川県交通安全協会理事をそれぞれ務めております。



県警察本部で受章記念(写真左から二人目)

「危険・あおり運転」のポケットティッシュを作成しました

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、社会的反響が大きく問題となっている「あおり運転」防止を啓発するポケットティッシュを各地区協会等に配布しますので、効果的な活用をお願いします。

☆ 「あおり運転」等の危険性

いわゆる「あおり運転」等は、重大な交通事故につながる悪質・危険な行為です。また、車間距離保持義務違反、進路変更禁止違反、急ブレーキ禁止違反等の道路交通法違反のほか、危険運転致死傷罪(妨害目的運転)や刑法の暴行罪に該当することがあります。

車を運転する際は、周りの車の動きなどに注意し、安全な速度での運転を心掛け、十分な車間距離を保つとともに、無理な進路変更や追越し等は絶対にやめましょう。



....シニアドライバーズスクールの開催.... ～参加・体験型安全運転実技講習会～

10月30日(水)、令和元年度「シニアドライバーズスクール」が横浜市緑区の鴨居自動車学校で開催されました。この講習には、抽選により選ばれた15名(男性11名、女性4名)が参加し、開講式に引き続き、日本自動車連盟のインストラクターの指導により講習が開始されました。

今回のカリキュラムは、「運転の基本(車の点検・運転姿勢・死角)」や正しいハンドル操作、車両感覚などの本項目のほか、ASV(先進安全自動車)の体験試乗などで構成されており、より実践的な講習内容となりました。

受講生からは、「スラローム走行やASVの体験ができる良かったです」などの感想が寄せられ、閉講式では日本自動車連盟神奈川支部から受講者全員に修了証が手渡され、トレーニングが修了しました。

(一社)日本自動車連盟、(一社)日本自動車工業会、(一財)全日本交通安全協会共催
神奈川県交通安全対策協議会、神奈川県警察、(公財)神奈川県交通安全協会、
神奈川県自動車ディーラー交通安全対策推進協議会、(一社)神奈川県自動車整備振興会等後援



交通事故の悲劇に学ぶ⑦

●「奪うだけ奪って」自営業(38歳)

私が裁判所で懲役3年の言い渡しを受けてから傍聴席に来られていた被害者ご遺族に一礼をして、「このような事をしてしまい、本当に申し訳ありませんでした」と謝り、ご遺族から「しっかり刑を務めて来なさい」とのお言葉を頂いてから2年が過ぎようとしています。しかし、未だに被害者とご遺族に私が犯した犯罪の細かな状況の説明と謝罪が出来ていません。

事件当日、私はいつものように早朝4時から始まる仕事を終え、自宅に車を置きました。そして、知り合いのお店にタクシーで行き、昼から仲間達とお酒を飲み始めました。仲間達はいつものように何気ない話で盛り上がりいました。お酒の量は、ビール4杯とそれ程多くはなかったのですが、お酒が身体にどのように影響していくのか自分自身きちんと理解していなかったのです。午後4時頃に解散になり、タクシーでそれぞれの自宅で帰りました。

ここまでなら何の問題もありませんが、私は帰宅後2時間半という短い時間の睡眠を取り身体にアルコールが残っていないと勝手に判断し、買い物の為に車を運転してしまいました。途中、下り坂で前方の車のブレーキランプに気を取られてしまい、歩行者の存在に気づく事が出来なかったという前方不注視で被害者の方と接触してしまいました。その衝撃の大きさから接触したものが人であることは、長年通り慣れた道であったため、一瞬で分りました。私は長い間、車という乗り物に乗ってきていますが、車が一番強く、「歩行者や自転車の人達が車を避けてくれるから」と自分勝手で傲慢な運転をし、接触したものが「人である訳がない」と現実逃避をしている私と「助けなければならぬ」と思う私でパニックになっていました。しかし、気がついた時には車を横に止め、横たわる被害者の下に向っていました。何の知識も持たない私が見ても、そこに横たわる被害者の方が亡くなっているのは明らかでした。私は大きな声で救急車と警察を呼ぶように呼び被害者の頬をさすりながら、「痛かったでしょ、ごめんなさい、頑張って下さい」と無反応な状態の被害者の方に声を掛け続けることしか出来ませんでした。

救急車が来るのがやけに長く感じ周りに集まってきた人々から携帯を借り、自らも地元の警察署に電話を掛けている時にサイレンが聞こえてきました。救急車が到着し、救急隊が担架で被害者の方を運んでいる間、ずっと傍らで声を掛け続け、救急隊員さんに「助けて下さい。お願いします」と懇願している時に警察官の方に現行犯逮捕されました。

後日、被害者の方が亡くなっていたことを知られました。その時から留置場の中で被害者の方の血が付いた手で「生きていてください」と祈っていた時の血の臭い、被害者の方が横たわっていた姿、顔を近づけた時の横顔を今でも忘れるこ



イラストは本文とは関係ありません

とが出来ず、「ふと」した時に思い出し、自責の念にかられる生活を送っています。釈放後、被害者ご遺族のもとに弁護士を通して謝罪をしたいと申し出をしました。

しかし、裁判所から接見禁止との決定を受け、被害者ご遺族への謝罪、ご冥福のお祈りとご遺族の方への状況の説明と謝罪が出来ていません。「しっかり刑を務めなさい」と言われた言葉の通り、しっかり刑を務め、受刑生活の中で私の犯した犯罪と向き合い、刑務所内で学ぶことが出来たことを生かし、償いの在り方を考えて精一杯の誠意を示そうと思っています。

私が一番に知りたい被害者の方の声や思いは、私が命を奪ってしまった事で聞くことは叶いません。しかし、命を奪ってしまった私がなぜ生かされているのかを考え、人一人の命の重さを背負い、一步一步前へ進んで行こうと思っています。お亡くなりになられた被害者の方に償いなどないのかも知れませんが、私はこれから出来る限りの償いをさせて頂こうと思っています。

「奪うだけ奪って」何も出来ない、何もしてあげられない、苦しく辛い思いしか残らないこのような犯罪を皆様にして欲しくはありません。この手記を読まれた方々で、お酒が体の中にどの位の時間残っているのか分らない方もたくさんいると思います。是非、これを機会にお酒の恐ろしさを知ってもらい、命の重さ、ハンドルを握るという意味をもう一度考え直して頂きたいと思っています。

皆様が取り返しのつかない重大な犯罪を犯すことがないよう、私のように人の命を奪って後悔する前に気づき、交通ルールを再確認し、譲り合いの気持ちを持ち、一人でも多くの犠牲者を出さない安全な社会を築いていけるよう心より願っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第53集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 神奈川福祉事業協会 横浜市神奈川区鶴屋町
- (株)武田商店 高座郡寒川町倉見
- (株)サンエーサンクス 横浜市保土ヶ谷区今井

● 賛助会員入会のお願い ●

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で快適な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。

地域交通安全活動推進委員研修会の開催

地域交通安全活動推進委員(以下「推進委員」という。)は、道路交通法等を根拠に、「地域における交通の安全と円滑に資するための活動」として、

交通安全教育、広報・啓発、協力要請、相談、協力援助、実地調査等を広く行うことを任務として県公安委員会から委嘱を受けています。

このため、推進委員には各種活動に必要な知識等を習得する機会が与えられています。

県協会は、県公安委員会から県交通安全活動推進センターとして指定を受け、推進委員に対する各種研修会等に講師を派遣しています。

管轄警察署の指導により、各協議会は、年度内2回以上の研修会(ブロック別研修会を除く)を開催することになっていますので、未実施の協議会事務局は早めに事前連絡していただくようお願いします。



《自転車会員入会およびサイクル安心保険加入のご案内》

全日本交通安全協会では「自転車利用者の交通安全意識を高め、自転車による交通事故を防止し、自転車の安全利用の実現に寄与することを目的として自転車会員制度」を行っております。

自転車会員は、自転車利用に関する情報の提供を受けられる他に、会員専用の団体保険制度「サイクル安心保険」へもご加入いただけます。

自転車保険に加入しましょう。

全日本交通安全協会の
自転車会員入会 および
サイクル 安心保険加入 ご案内



年間会員料には、自転車会員の年会費30円、補償保険料を含みます。(損害保険料プランA:30円、プランB:2,250円、プランC:3,980円)
非賠償責任保険料、傷害賠償保険料とともに自転車事故のみ対象となります。

1) 加入プラン 募集は随時行っています。加入締切は毎月5日と20日です。

(保険期間1年)		プランA 賠償のみプラン	プランB 個人補償プラン	プランC 家族補償プラン
賠償責任	補償範囲 自転車交換サービス	1億円 どのプランもご家族全員補償します!	1億円 死亡・後遺障害保険金 1,000万円 入院保険金(日額) 2,000円	1億円 死亡・後遺障害保険金 1,000万円 入院保険金(日額) 3,000円
ケガの補償	本人 配偶者	補償されません	補償されません	補償されません
1年間の掛金		Web申込み 1,230円 郵送申込み 1,430円	Web申込み 2,650円 郵送申込み 2,850円	Web申込み 4,380円 郵送申込み 4,580円

2) 手続方法

- 1 Webの場合** **掛金が安い**
加入者票はその場でダウンロード
ホームページからまずは検索ください!
全日本交通安全協会 自転車会員 検索
- 2 郵送の場合** **¥ 口座振替**
申込用紙を入手してお申し込みください
《申込用紙の入手方法》
①ホームページからダウンロード
②お近くの交通安全協会の窓口までお越しください。

問い合わせ先(保険会社等の相談・苦情・連絡窓口)

株式会社インシュアランスマーケティング
取扱代理店 〒160-0004 東京都新宿区四谷2-9寺ビル2F

引受け保険会社 【受付時間】平日：午前9時～午後5時
損害保険ジャパン日本興亜株式会社 営業開発部第二課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
損保ジャパン日本興亜本社ビル14階 TEL 03-3349-3578

TEL 0120-691-744 【受付時間】平日：午前9時～午後5時

団体連絡先 【受付時間】平日：午前9時15分～午後5時
一般財団法人全日本交通安全協会 自転車会員係
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-13 TEL 03-6261-2927

6

わらうか 迷う気持ちは 赤信号

この人
163



輿石 稔さん
会長
栄交通安全協会
こしいし
みのる



この度、栄の会長に就任しました輿石稔です。

自分は他の多くの会長と違い地元出身ではなく、東京の文京区で生まれ育ちました。

地場産業である製本会社を営む祖父が自治会長をしており、父も地域活動に熱心でした。自分は小さい頃より自転車やオートバイ、自動車が大好きで、サイクリング、ツーリング、ドライブと歳を追うごとに変化しながら趣味は常に車両に関わるものでした。

縁があり妻が生まれ育った栄区に暮らすようになり、現在は保険の代理店を自営しておりますが、子供の頃からの関心事が仕事にも大いに役立っています。一方で娘の小学校のPTA会長になったのをきっかけに地域活動にも積極的に参加するようになりました。

PTA会長になる前から小学校の学援隊に所属していましたが、組織や活動を見直して機能を強化する必要が生じて、PTA会長になったことを機に有志による学援隊を再編し、全保護者が見守り隊員となる活動に改めました。自分自身も率先して毎朝の見守り活動を行ない、子供達の命を守る責任感が強まる中、さらに自信を持って取り組めるよう交通指導員

になりました。これが交通安全協会に入ったきっかけとなっています。

安協では、まもなく常任理事となり、昨年は突然の会長交代に伴い新会長・副会長を補佐するために3人目の副会長として就任しました。

今年度も前会長の急な辞意を受け、突然であり若輩ではありますが自分が会長をお受けすることとなりました。

はまっ子交通安全教室、地域自治体、団体や企業の交通安全教室にも積極的に参加する中で、必要を感じて自転車指導員、二輪車指導員の資格も取りました。

今後も積極的に研修や講習を受け、自分自身のスキルを上げていきたいと考えております。学援隊として見守り活動を始めた当時の子供達は大学生や社会人となり、今でも朝の挨拶を交わしております。地域の皆様と親しく接していただきながら、ご縁を大切にして、この先も活動を続けていきたいと存じます。

今後とも栄交通安全協会を宜しくお願ひいたします。

(取材協力:栄交通安全協会)

こんにちは
「三浦市交通安全協会」です

皆さんは三浦市にどのような印象をお持ちですか?

海ですか?マグロですか?スイカや大根ですか?

都心から、短時間で来られて自然を満喫できると、近年日帰り旅行に大人気の三浦市です。週末にはたくさんの観光客が訪れます。海外からの観光客も増えました。嬉しい半面、当然交通量も年々増加し、週末の交通渋滞は恒例となりました。

三浦市交通安全協会は、昭和15年4月に発足し、それまで警察署内にあった交通安全協会を、警察署の移転に伴い昭和61年3月に警察署敷地内に移転し現在に至っております。終戦が昭和20年ですので、三浦市民の交通安全意識の高さ

がわかります。

当協会の事務所では、事務長とパート事務員2名の計3名で従事しており、昼間は2名態勢で窓口業務を行っております。

三浦市交通安全協会の顔と言えば、何といっても、高梨和吉会長です。高梨会長は、三浦市の交通事故防止対策の各種行事の立案・運営にあたり、市内関係機関・団体と連絡、調整して毎月の交通安全日・各季交通安全運動・キャンペーン等に積極的に参加し、交通安全思想の普及・高揚に尽力され多大な成果を上げています。

また、各行事に率先して参加する姿勢により、役員を始め関係機関・団体の信頼も厚く、従業員一同心から頼りしております。

近年、人口減少、高齢化、少子おり、それに合わせ、三浦市交通安全



協会も変化と進化が必要となりました。車社会もAI技術が進歩し、自動運転の時代へと進んでいます。明確な答えは出ておりませんが、今後も近隣の三浦半島地区交通安全協会の中で情報を共有し、新たな時代にマッチした活動を心がけ、交通事故ゼロを目指していきたいと思います。

(青木 記)

こんばんは 早めのライトで ごあいさつ

地区交通安全協会の活動紹介



相模原 相模原駅周辺での放置自転車クリーンキャンペーン



厚木警察署管内 警察署で違法・迷惑駐車追放会議を開催



都筑 センター北駅前での違法駐車追放キャンペーン



津久井 藤野小学校での交通安全教室



海老名市 海老名駅前での交通安全キャンペーン

～違法駐車・放置自転車クリーンキャンペーン～



鶴見 鶴見公会堂での交通安全キャンペーン



相模原北 橋本高校正門での交通安全キャンペーン



秦野市 東海大学前駅周辺での交通安全キャンペーン



機子 神奈川ドライビングスクールでの交通安全教室



伊勢原 伊勢原交差点での違法駐車追放キャンペーン

インフォメーション

- 飲酒運転根絶強化月間 ━━━━━━ 12月中
 - 年末の交通事故防止運動 ━━━━━━ 12月11日(水)～12月20日(金)
 - 二輪車安全運転特別講習 ━━━━━━ 12月21日(土)運転免許センター